

月刊 グラフィックサービス

No.843 2022 02

■ 巻頭言

「あなた」のお話

——東京地協・城西支部長／(株)東京プリント 児玉 年史

■ 巻頭企画

2022年1月スタート、 『電子帳簿保存法改正』どうすれば??

——(株)TFS パートナース 山崎 泰

■ 連載・シリーズ

デジタル印刷機を活用した DX による生産性向上—後編—

——ジャグラDXWG 委員／株式会社正文舎 岸 昌 洋

中小印刷業の働き方改革を考える⑤

東京・西谷印刷(株)さんの事例



GS

No.843
2022
02

CONTENTS

■ 巻頭言

1 「あなた」のお話

東京地協・城西支部長／(株)東京プリント 児玉 年史

■ 巻頭企画

2 2022 年 1 月スタート、 『電子帳簿保存法改正』 どうすれば ??

(株)TFS パートナース 山崎 泰

■ 連載・シリーズ

10 ジャグラ DX 始動！⑦

デジタル印刷機を活用した DX による生産性向上—後編—
ジャグラ DXWG 委員 / 株式会社正文舎 岸 昌洋

20 中小印刷業の働き方改革を考える⑤

東京・西谷印刷(株)さんの事例



本誌へのご意見・記事提供は下記まで
edit@jagra.or.jp

なかむら通信

会員の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。
会長の中村耀です。

1 月に入り、国内でもオミクロン株拡大の予兆を見せ、全国的に 1 月の感染者数が過去最高を記録しました。1 月 21 日からは東京もまん延防止が適用されすでに今後の仕事の予定が減り始め

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

電子版無料公開中！

スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中！
毎月中旬、紙媒体より早くご覧いただけます
バックナンバー閲覧もここから



<https://www.jagra.or.jp/>

■ NEWSとお知らせ

26 業界の動き

ジャグラ
菅野前ジャグラ副会長(東グラ前会長／東京・城東)都知事賞受賞を祝す
ジャグラ
東京・文京支部60周年式典ひらく
ジャグラ
東北地協で第2回幹事会開く
日印産連
新年交歓会に250名超

28 ジャグラBB HOTNEWS

29 事務局日誌と今後の予定／事務局便り

7 (株)モリサワ
8 (株)ショーワ
9 (株)モトヤ
16 東京リスマチック(株)
17 リコージャパン(株)
18 ホリゾン・ジャパン(株)
19 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)
表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)



「ジャグラ BB」もご覧ください
経営・教育番組を多数配信！
jagrabbb.net

「あなた」のお話

東京地協・城西支部長／(株)東京プリント 児玉 年史



あなたは汚い、あなたの話をするのは下品、あなたの話などしたくない、そう評価した相手から愛されることはほぼ 100% ないだろう。私が「あなた」と書いたのはお金のことである。日本には人前でお金の話をするを良しとしない文化がある。お金の話を始めたら嫌な顔をされ、避けられ、金の亡者と罵られる。これでは多くの日本人が金持ちになるのは非常に難しい。嫌だ、汚らしい、と思っている相手に好かれることはないのだから。

「若いうちは貯金などするな」、昔からずっと言われ続けている言葉だ。しかし昔と今では意味が違う。昔は年功序列で社会全体が昇りのエスカレーター。流れに逆らわなければ給料は上がり、リストラに遭うこともない。貯金などしなくても生活には困らないから、と。今は違う。貯める金があるならこれからの自分に、未来に投資をしろ。さもないと年を重ねる毎に自分の価値は低くなっていく。全ては自己責任。若いうちはスキルや能力を磨き、知識と人脈を得るために金を使え、そうやって自分の身は自分で守るのだ、と。

老後 2000 万円不足問題、Nisa や iDeCo の導入も含めて「もはや年金制度では国民を支えることが出来ません。老後は自力で何とかしてください」という現実が我々に突き付けられている。日本の子供の 6 人に 1 人が貧困家庭で育っている。もはやお金の話について、遠慮したり下品だと避けて通ることが出来る状態ではない。

多くの日本人が投資に嫌悪感を持ち、未だに現金最強と考えていることには理由があると考えている。日本は約 30 年間インフレを経験していない。インフレとは簡単に言えば「物の値段が上がリ、相対的に現金の価値が下がること」である。先進国を含め多くの国が毎年 2% のインフレを目標に国を運営している。つまり「現金の価値が毎年 2% ずつ目減りしていく」ことになる。資産を維持するためには毎年 2% 以上で運用する必要がある。しかし現金の価値が下がらない日本では現金が一番安全な資産となる。だから日本人は投資をリスクと考え、世界は現金をリスクと考える。世界では「投資」は生活の一部なのだ。

野村・大和・SMBC 日興・楽天・SBI、大手証券会社の合計証券口座数は 2020 年に 2200 万口座を超えたという。2016 年と比較して現在楽天証券は 2.5 倍、SBI 証券は 1.5

倍と物凄い勢いで口座数が伸びている。給料が増えない、老後の生活も保障されない、そんな将来に不安を抱く者。働くだけの人生は嫌だ、自分の好きなことをやって生きていきたい、そのために FIRE (Financial Independence & Retire Early 経済的自立と早期退職) を目指す者。様々な形で投資に興味を持った者が市場へ参入してきている。コロナ以降多くの国の株価は一本調子に値上がりをした。ここ 1 ~ 2 年本格的に投資を始めた人の多くが「投資は簡単」「自分には投資の才能がある」と勘違いしているのではないだろうか。私もその一人ではあるのだが。そういう者たちは「リスク許容度を遥かに超えてもレバレッジを大きくかけることで短期間で金持ちになれる」ことを信じて疑わない。ネットで騒がれるわずかな成功者の足元には数えきれないほどの屍が転がっていることを知らずに。

だからこそもっとお金の話をし、勉強をしなければならぬと思う。学校での教育は必須だ。「どうしたら儲かるか？」ではなく、お金とは？投資とは？投資は何のために行うのか？投資のリスクとは？ポンジスキームとは？などお金と投資、それに関わる人間の欲望など本質を教える必要がある。投資の神様ウォーレン・バフェット氏の年平均リターンは約 20%、もちろん元本保証はない。その程度の知識ですら「元本保証で年 10% のリターン」案件には何か裏があるのではないかと疑り、簡単に飛びつかない抑止力になる。

私はだが 5 個つく位の投資素人である。印刷業界内でコソコソと投資の話をしていたら「実は俺もやっている」という仲間が数名いた。もちろん仕事が一番であることは言うまでもない。その上で会社繁栄の助力として、自分の人生を豊かにするための手段の一つとして、投資の勉強やお金の話をもっともっと大っぴらに出来るようになれば良いなあと思うのである。

この話が掲載される頃に大暴落を食らっていたらそれはそれで一興ということで(笑)。

2022 年1月スタート『電子帳簿保存法改正』どうすれば ??



TFS コンサルティンググループ TFS 国際税理士法人
株式会社 TFS パートナース (新宿支部) **山崎 泰**

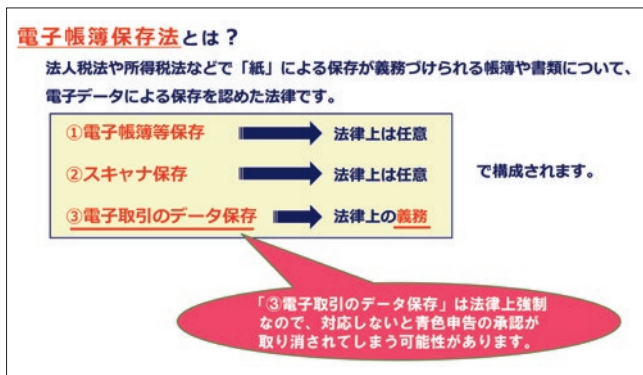
1. 帳簿は”紙”で保存しているから関係ない～とも言えない時代に

“電子”の“帳簿”で“保存”???…と聞くと、「エッ、ウチは“紙”扱っている印刷会社なんだから、当然、帳簿も”紙”で保存しているから関係ない～」という声も聞こえてきそうです。確かにジャグラ会員の私としても、実はやや複雑な心境です。。。

しかしながら時代の変化を反映した『電子帳簿保存法改正』によって、流れが変わりつつあります。メール等でのやり取り「電子取引」に関して、PDF 等の「電子データ」で受け渡しした領収書や請求書など…印刷出力して“紙”で保存することは認められず、そのまま“電子”で保存することが、すべての事業者に対して義務付けられることになるのです。

2. 『電子帳簿保存法』とは

『電子帳簿保存法』とは、原則として“紙”での保存が義務付けられてきた帳簿書類に関して、「電子データによる保存」をするための要件、「電子データ」でやり取りした場合の取引情報（メール添付の PDF ファイルで受領した領収書・請求書など）の保存義務等を定めた法律です。



電子保存に関する主なメリットです。

ちなみに領収書を PDF で送れば、紙・書面ではないので、印紙税は課税されません。

でも「印刷不要」「印刷コスト削減」?? が入っているのが“玉に瑕”ですね。

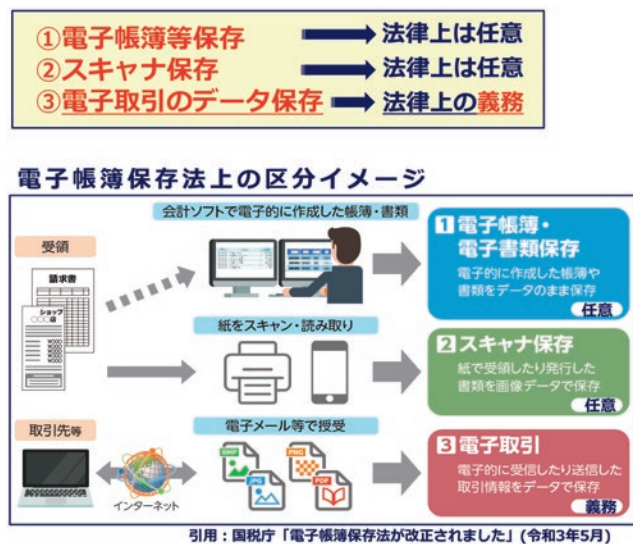
電子保存の主なメリット

- ・領収書や請求書等の保管場所が不要に
- ・紙に印刷不要で印刷コストが削減
- ・クラウド環境への保存で紛失リスクが削減
- ・電子化によるデータの検索が可能に
- ・経理を電子化することで生産性向上に
- ・テレワークの推進に有効

3. 3つの場面に分けて考えると…分かりやすいかも

ただ、一口に「電子データによる保存」といっても、少し分かりにくいので、3つの場面に分けて考えていただくと、理解しやすいと思います。

①「電子帳簿」「電子書類」保存…電子的に作成した帳簿や書類を“紙”として印刷出力せず“データ”のまま保存（する場合）⇒「改正電子帳簿保存法」では、“データ”のまま保存することはあくまでも「任意」です。



要は…“紙”として印刷出力して保存しても、“データ”のまま保存しても、どちらでも OK です！

②スキャナ保存…“紙”で受領したり“紙”で発行した書

類を、スキャンして“画像データ”で保存（する場合）⇒「改正電子帳簿保存法」では、“画像データ”で保存することはあくまでも「任意」です。

要は…“紙”をスキャンせずにそのまま保存しても、スキャンして“画像データ”として保存しても、どちらでも OK です！

③電子取引のデータ保存…電子的に（電子メール等で）受信したり送信した取引情報（PDF ファイル等）を“データ”で保存（する場合）⇒「改正電子帳簿保存法」では“電子取引の場合にはデータ保存！”することが、法律上強制されました！！

要は…法律上の強制なので、添付ファイル等で電子メールにて受信した請求書等を“紙”で印刷出力して保存することは認められなくなりました。法改正に対応した保存方法にしないと、青色申告の承認が取り消されてしまう可能性すら指摘されています。

4. 『電子帳簿保存法』って、いつから始まるの？

(1)税務署長の事前承認制度の廃止

「電子帳簿・電子書類保存」「スキャナ保存」を行う際に、事前に必要だった所轄税務署長の承認申請が不要となりました。

【電子帳簿】令和4年1月1日以後開始する事業年度分から適用されます。

【電子書類】令和4年1月1日以後保存を開始するデータから適用されます。

【スキャナ保存】令和4年1月1日以後保存を開始するスキャナ保存から適用されます。

(2)電子帳簿の一定の要件による分類（「優良な電子帳簿」「その他の電子帳簿」）

令和4年1月1日以後に備え付けを開始する「電子帳簿」から適用されます。

(3)タイムスタンプ要件、検索要件等の緩和

令和4年1月1日以後に行う「スキャナ保存」「電子取引」から適用されます。

(4)「スキャナ保存」の要件緩和

令和4年1月1日以後に行う「スキャナ保存」から適用されます。

(5)「優良な電子帳簿」に係る「過少申告加算税」の軽減措置

令和4年1月1日以後に法定申告期限が到来する国税から適用されます。

(6)不正があった場合、重加算税の加重措置が適用

令和4年1月1日以後に法定申告期限が到来する国税か

ら、「スキャナ保存」「電子取引」について、電子データ不正による申告漏れ等に課される重加算税が10%加重されます。

5. 「電子取引」のデータ保存義務化～守らないと“青色申告の承認”が取り消されてしまう？！

「電子取引」データ保存の義務化も、当初は令和4年1月1日以後に行う「電子取引」から適用されることになっていました。電子取引による電子データ（の一部）を“データ”で保存せずに、印刷出力して“紙”で保存していた場合、青色申告の承認まで取り消されてしまう???のではという懸念が大きく広がりました。

全ての事業者に義務化され、大きな影響があるにもかかわらず、「電子取引」「データ」の保存方法が確立、周知徹底されていない点などを考慮して、国税庁は下記方針を公表しました。

令和5年12月31日までに行う「電子取引」については、データを“紙”で印刷出力して保存しても、税務調査等の際に提示・提出できるようにしておけば良いこととされました。

いずれにしても2年後に迎える事態なのですが…当面は“紙”での保存を継続しても、青色申告の承認取り消しにはならないという点が明確になったこと、ホッとしています。。。

6. 「電子帳簿」「電子書類」保存

補4 一問一答【電子取引関係】問42

【補足説明】
電子取引の取引情報に係る電磁的記録の保存義務に関する今般の改正を契機として、電子データの一部を保存せずに書面を保存していた場合には、その事実をもって青色申告の承認が取り消され、税務調査においても経費として認められないことになるのではないかととの問合せがあります。
これらの取扱いについては、従来と同様に、例えば、その取引が正しく記帳されて申告にも反映されており、保存すべき取引情報の内容が書面を含む電子データ以外から確認できるような場合には、それ以外の特段の事由が無いにも関わらず、直ちに青色申告の承認が取り消されたり、金銭の支出がなかったものと判断されたりするものではありません。

電子帳簿等保存 ～電子帳簿・電子書類保存～ 法律上は任意 チェック		
項 目	改正前（～2021年12月）	改正後（2022年1月～）
事前申請制度	税務署長に事前申請が必要	不要に
保存要件	信頼性の高い帳簿に限定	(1)「優良な電子帳簿（黒出制）」として過少申告加算税の5%軽減
		(2)最低限の要件を満たす電子帳簿も対象に

以下、前述の3つに分けた場面ごとに解説していきます。

「電子帳簿」「電子書類」とは、電子的に作成した帳簿や書類、市販の会計ソフトで作成した総勘定元帳・仕訳帳などの帳簿データをイメージしていただければと思います。

JIIMA認証のロゴの例



国税庁 HP でも、JIIMA 認証のソフトウェアを公表していますので、ご確認ください。

https://www.nta.go.jp/taxes/tetsuzuki/shinsei/annai/hojin/pdf/JIIMA_list_2.pdf

12. 「電子取引」データ～具体的に「どこに」「どう」保存していくか？

(1)専用の保存ソフトを使わない場合

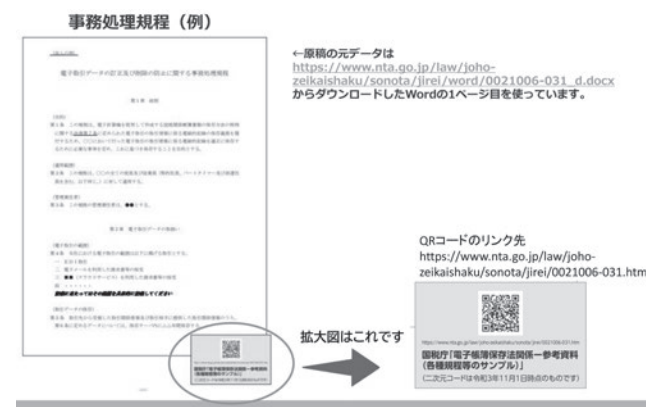
① PDF で受領した請求書・領収書などのデータ⇒取引年月日、取引金額、取引先名等の入ったファイル名を付す⇒規則性をもった内容表示にする。

(例) 2022 年 3 月 1 日、ジャグラ商事から 55,000 円の請求書を PDF ファイルで受領

ファイル名⇒ 2022.03.01_ (株)ジャグラ商事 _55,000 円 と表示

②①で作成したファイル⇒「(株)ジャグラ商事」「2022 年 3 月」等々、「取引先」「月毎」などのフォルダにして、検索しやすい形で格納しておく。

③「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規定」を作成し備え付けます。



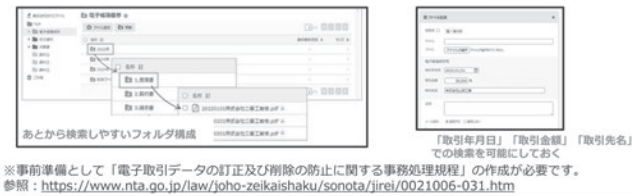
(2)専用の保存ソフトを使う場合

電子帳簿保存法への対応が可能な保存機能イメージ



電子取引データ保存のイメージ
電子帳簿保存法への対応が可能な機能とは？

1. 改ざん（訂正・削除）のできない仕組み
⇒要件として求められている、データを訂正・削除できない仕組みが必要
2. 「取引年月日」「取引金額」「取引先名」で検索できるような仕組み
⇒複数項目での検索ができなければならない。
取引年月日・取引金額は範囲指定による検索もできるとよい。



最後に、専用保存ソフトを使った「電子取引」データ保存のイメージをご紹介します。「取引年月日」「取引金額」「取引先名」で検索できるような機能になっていることが、ご確認ください。

13. 最後に～ジャグラ BB も、どうぞ併せてご視聴くださいませ～

かねてより「分かりにくい」との声が大きかった『電子帳簿保存法の改正』ですが、ご理解を深めていただくことはできましたでしょうか？

2 年間の猶予が設けられたとはいえ、時代の流れは確実に「電子化」に向かっています。

誌面のみでは字数にも限りがあり、ジャグラ BB にて当社妹尾税理士が動画解説しておりますので、併せてご視聴いただくと、理解が深まると思います。

また、毎月 3 回発行している当社メールマガジンにても、電子帳簿保存法の詳細について、逐次配信しています。もし宜しければ、下記 QR コードからご登録くださいませ。

ご不明な点などがございましたら、どうぞご遠慮なく、ジャグラ事務局を通じてお問い合わせください。

ほかならぬジャグラ会員の皆さま…できる限りのサポートをさせていただきます。



TFS 公式サイト



TFS メールマガ登録はこちら



ジャグラ BB 公開の妹尾税理士による電帳法改正の解説動画

多言語ユニバーサル情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

Japan.
Endless
Discovery.

多言語に対応した デジタルブックを簡単に作成 手軽に配信・快適に閲覧

あらゆる紙媒体をデジタル化し、スマートフォンやタブレット端末に手軽に配信。さまざまなシーンにおいて、時間・場所・言語にとらわれず、情報発信から閲覧環境まで、ワンストップで最適な環境を提供いたします。

快適なユーザ体験をもたらす
多彩で豊富な機能を搭載



テキストウィンドウ表示



自動音声合成機能



SNS連携機能



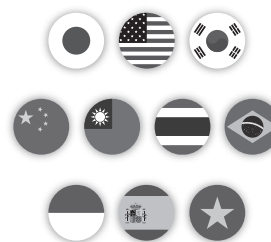
ログ解析機能



配信エリア指定



本文検索機能



高性能翻訳エンジン

JPSA
Morisawa
Morisawa is, Japan 障がい者スポーツ協会を応援しています

www.morisawa.co.jp

詳しくは エムシーカタログ

●記載されている会社名・商品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。●本仕様は、予告なく変更する場合があります。



SHOWA

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。
創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション＆リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

MOTOYA

DXを味方に。 お手伝いするのは モトヤ。

もうすぐ100年。皆さまと歩み続けるモトヤは、
これからも、
モノづくりを超えたコトづくりのご提案を続けます。

そして、 SDGsの九つのゴールの 実現に協力していきます。



— 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」への取り組み —

印刷現場の環境改善を考える



環境対応資材

ECO no MISTは、
お客様と共に「環境」と「価値」を考える
モトヤの資材ブランド。
消耗品による環境改善を実現します。

※詳しくは…



※詳しくは…



多くの人へ情報やイメージを伝えていく
美しく、効果的に。
社会への負荷も可能な限り抑制していく
サインシステムの枠を超えた、ルーフアス。

人に、社会に、ルーフアス



内照式ファブリックサイン

通信制 JAGAT指定校
DTPエキスパート認証試験対策講座

入学随時。どこでも、いつでも、繰り返し学習出来ます。
合格実績あるモトヤDTPスクール*合格者累計約700名が運営。
通信制で初めて、唯一の(公社)日本印刷技術協会指定講座。

詳しくは…



印刷のソリューションプロバイダー

MOTOYA 株式会社

大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 ☎(06)6261-1931(代)
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

ジャグラDX始動！⑦

デジタル印刷機を活用した DX による生産性向上 ―後編―

ジャグラ DXWG 委員 / 株式会社正文舎 岸 昌洋

1月号では、デジタルトランスフォーメーション（DX）化による生産性向上について、マーケット縮小する中で必要とされる印刷ワークフローの再構築のポイント、DX化を推進する上でのIT人材の育成、オフセットからデジタル印刷への転換といった課題を挙げました。これらの課題を解決するための設備と取組みを述べ、DX化による具体的なサービス内容で、「RPA導入による自動化の推進」「バーコード管理による工程の可視化」まで解説しました。本号では引き続き、「製本への対応」と人材育成面での課題に触れた後、生産性向上のDXを推進する正文舎様の取組みをDXWGの見学会から紹介します。

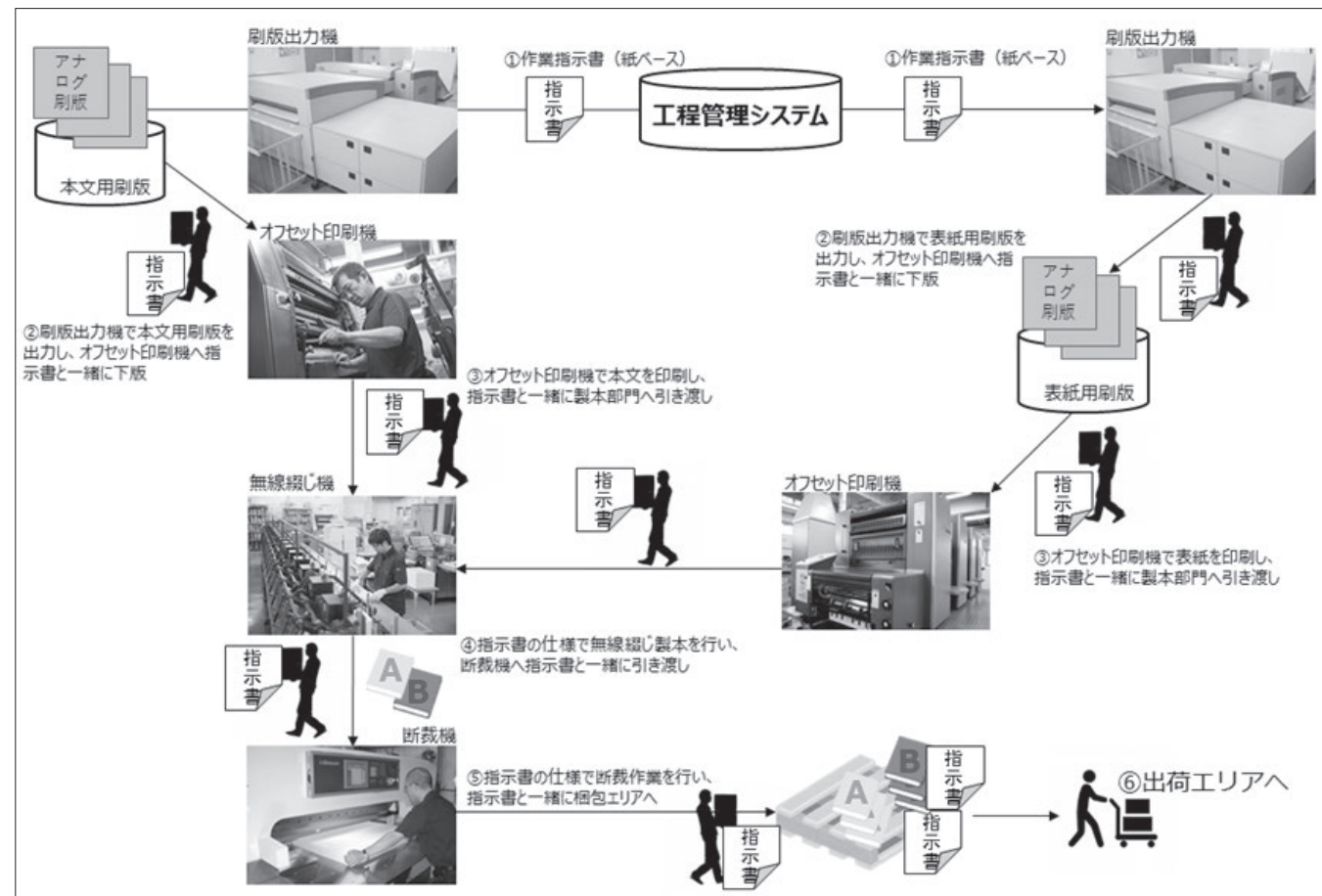
×

3. 製本への対応

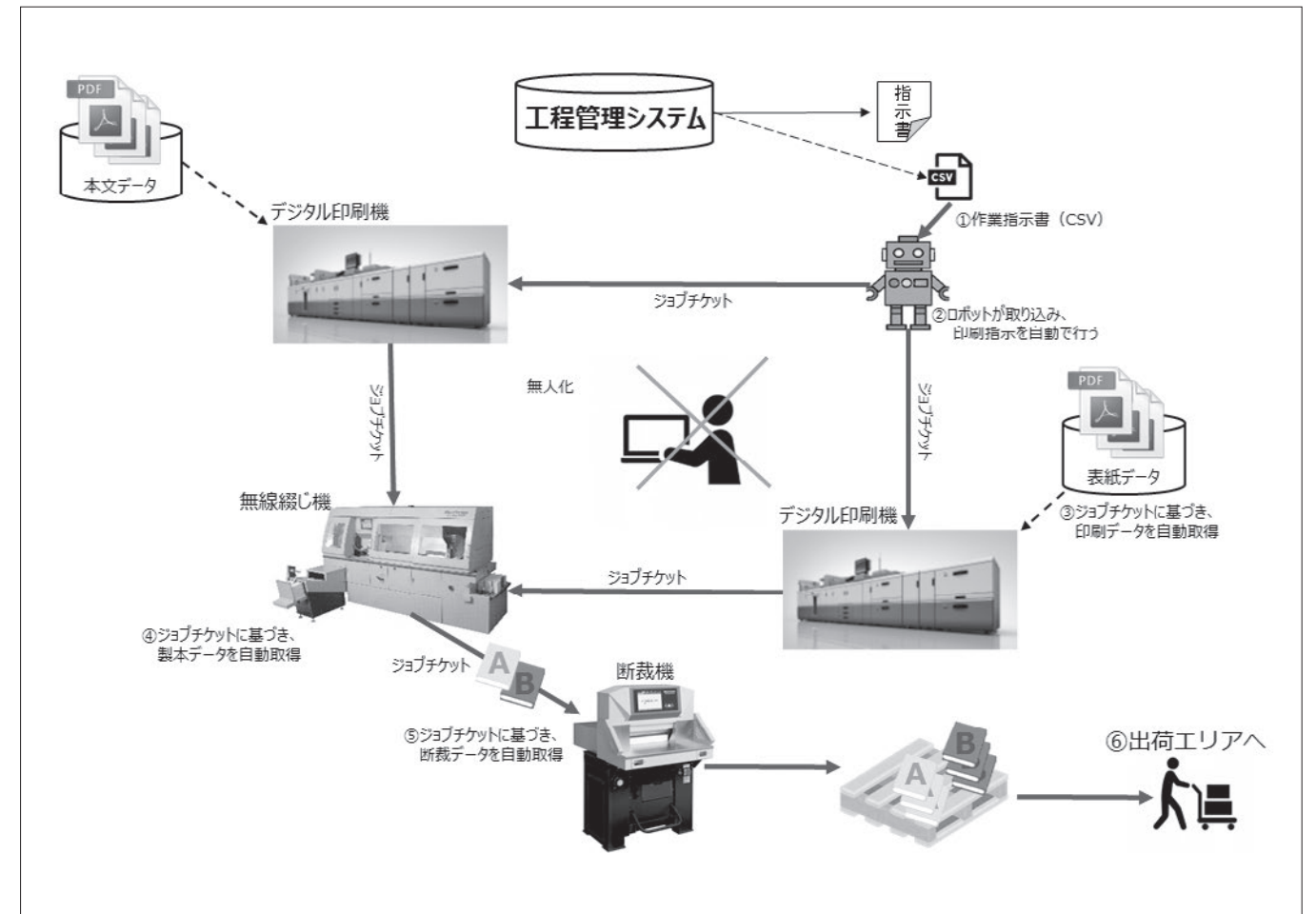
無線綴じ機や断裁機などの製本設備をデジタル化することにより、バーコード運用やJDF化で人間によるタッチパネル操作などセットアップを自動化（タッチレス化）し、

スキルレス化や人的要因ミス・事故を抑制します。また、JDF化することにより、ワークフローシステム内での作業の進捗状況や仕様の変更情報をやり取りしMISと通信することにより工程管理へのフィードバックや経営情報へのフィードバックを実現します。

【従来の生産方式】



【これからの生産方式】



DX化における目標と成果基準例

生産課題	現 状	目 標	効 果
品質面	●作業が属人化しておりバラつきが発生している ●トレーサビリティが個別作業まで至っていない	●自動化によるバラつき・属人化解消 ●バーコード管理による見える化	●作業の標準化の確立と多能工化率100% ●社外流出製品ミスの撲滅
納期面	●オフセット印刷による乾燥待ちが必要 ●製本外注等もあり納期で即納対応ができていない	●デジタル印刷による乾燥待ちの解消 ●製本社内一貫化による納期短縮	●受注後の即納（1日～2日以内）の実現 ●手待ち時間の解消による残業ゼロ化（働き方改革）
コスト面	●作業者の固定化により多能工化に遅れ ●熟練に達するまでの育成・訓練費用が課題	●職人レス化による多能工化推進 ●スキルレス化による育成・訓練費用減少	●作業の夜間無人化の実現による残業稼働ゼロ ●作業者の多能工化・柔軟化による人件費効率の向上

DX化における具体的なターゲット先

1. 短納期印刷製本による製品提供
2. デジタル印刷ならではの可変要素がある高度な個人情報案件（卒業証書や学位記、個人成績表など）
3. 学習塾や予備校など、個人成績表などの個人情報をバーコードによる工程進捗の可視化及び数値管理することで誤配を防止
4. デジタル化によりCTP刷版やインキなど有機溶剤、印刷工程におけるヤレ紙、電力の大幅な削減で環境配慮におけるSDGs・CSR対応でSR調達への参入

DX化を推進していく上での課題（IT人材の育成）

DXの活用には、「ビジネスモデル」と「企業文化・風土・組織」の変革が不可欠となります。IT人材は、経営層にICTの活用を基に報・連・相し、自社における仕事の仕組みの変革や新たな事業（サービスライン）、収益方法を開拓する一助に位置付けられます。よって各種ディレクションを行う能力は必須となります。とりわけ印刷業（製造業）におけるIT化を担う人材の育成は、営業や生産部門と違い「物」を製造し、利益を生み出さない「非生産的な人材」と見られがちであることから育成が進んでいない現状があり、これから先はリアルに営業に出向いたり生産を行うのではなく、DX化のベースを担う人材が必要となります。また、経営者が明確な構想を持たずに担当者に丸投げするとスピー

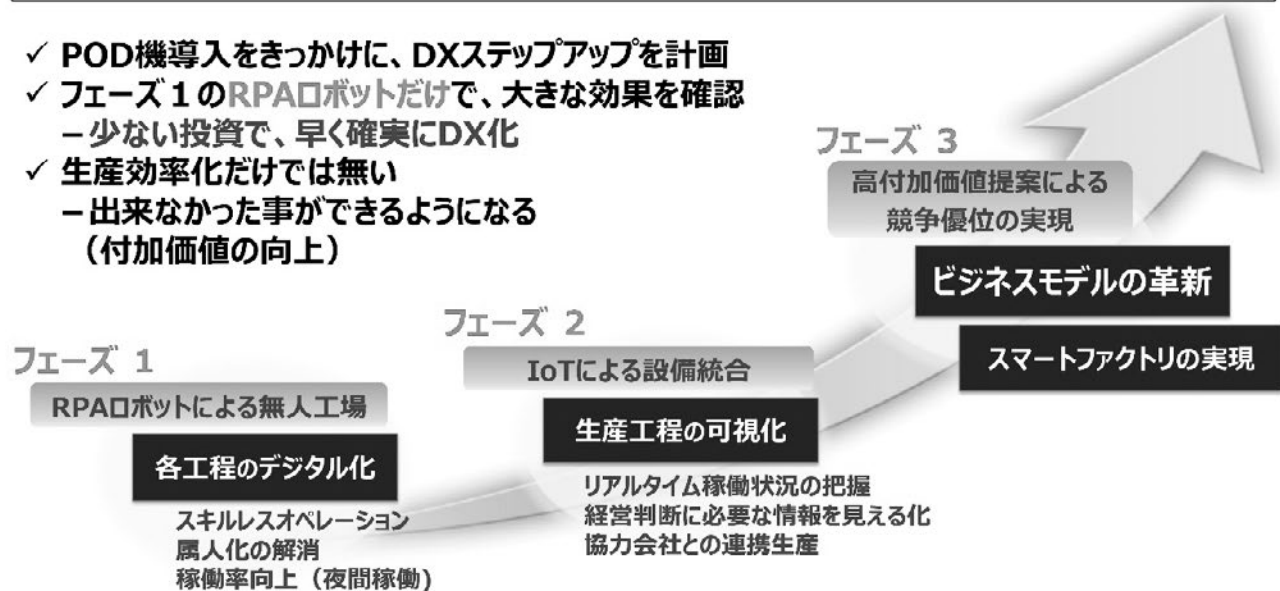
ド感が落ち、取り組みがとん挫し、何もしなかったことと同じになります。意思決定が曖昧で、勘と経験・度胸ではデータを収集する意味が無く人材育成にも結び付かず、「とりあえず」という曖昧な仕組みでは手間や経費が掛かり、無駄な投資となります。我々印刷業界は過去数年間の歴史の中で、他業界に先駆けて急激にデジタル化してきました。時代の変遷に柔軟に対応し、積極的にDXを推進するためにもIT人材の育成は必要不可欠と考えます。

まとめ

ここで取り上げたDXにおける生産性の向上は、機器をデジタル機に置き換えることが目的ではありません。生産性を見直しながら向上することで、新規の顧客や案件を獲得し売上げの拡大を目指し、働き方の改革に繋げ、その先に自社の変革があります。私たちがDX化を推進するのは、目的ではなく「手段」です。業態を進化させ、生産性を向上し、収益を上げながら地域に貢献し活性化の一助になるという目的を達成するための手段です。一気に変えるのではなく、自社に即したフェーズを決めて取り掛かれることもこのDXが、会社規模や人数規模、地域の特性に関係せず取り組めることが特徴です。時代の変遷により、様々な社会生活、あらゆる業種・業態でデジタルトランスフォーメーションは避けて通れません。ジャグラの仲間と取り組めるという意義を有効に活用してください。

ステップアップ式 DXロードマップ

- ✓ POD機導入をきっかけに、DXステップアップを計画
- ✓ フェーズ1のRPAロボットだけで、大きな効果を確認
 - －少ない投資で、早く確実にDX化
- ✓ 生産効率化だけでは無い
 - －出来なかった事ができるようになる（付加価値の向上）



正文舎デジタルプリントファクトリー見学レポート データ活用で生産性向上のDX実現



岡達也サブリダー

以前より岸社長からは「自社の中でオフセット印刷とデジタル印刷を勝負させる」と聞いていました。そうか、一気にデジタル印刷化を目指されるのだ、程度に考えていたのですが、実際に現場を拝見すると無人のモノクロPODがしっかりと稼働しています。デザインチームが運用し、POD選任のオペレータがいないという事実に驚きました。なるほどこの方向で、革新の起きなかった現場と印刷手法を、デジタルの力で書き上げていくのだ、という真意がよくわかりました。材料原価よりも人件費を含めたトータルコストが大切。全体最適をめざして生産ラインをひとつのシステムとして考える。当然と言えば当然なのですが、自社を含め、多くの印刷会社は、従来の印刷をデジタル印刷機でやっているだけで、実は何もデジタル化できていない勿体ない状態にあるのだ、ということにこの見学会で気づかされました。



中村盟サブリダー

正文舎さんの「DPF」を見学させて頂き、まず目に入ったのは、想像以上の大きさ（長さ）のPOD印刷機でした。（約10m）当社にあるPOD印刷機の約2.5倍もありそうな長さにまず驚きました。POD機は、中綴じ製本や折り加工のフィニッシャーの追加により、長くなっていくのは承知しておりますが、それにしても長い。一体何故これほどの長さが必要なのかという疑問は、社員の方の説明をお聞きしていく中で、理解をしていきました。

受注した印刷物の作業工程をロボット（AI）が適正なスケジュールを組み、POD印刷機に指令を出し、印刷を進めていく為に、用紙の給排紙部が通常の約3倍の能力が必要との事でした。また、印刷指示書には、次の工程（無線綴じや断裁等）についての指示がバーコードで管理され、サイズ変更や数量はバーコードを読み取る事により加工機に伝達され、セッティングも自動でされており、オペレーターの人的ミスが最小限に抑えられていました。バーコードによる管理は、最終的に納品確認まで及び、請求書の作成まで一貫した流れになっていました。

IoTやAIを活用したDXは、「人間の労力」を省力化してくれます。情報を整理し、組み合わせ、分析し、課題を明確にする。ここまでは、もしかしたらすでに人間の能力を超えているかもしれません。しかし、ここで終わっては、DXの価値は半減すると私は思います。

人間の「考える力」「考え抜く力」を高め、省力化された時間を人間にしか出来ない事に充て、「新しい価値を創造し、時代の変化に対応」する事で、DXは初めてその価値が出てくるのではないのでしょうか。

次頁で正文舎DPFの全体像をご紹介します！！→



2

オンデマンド機は基本、無人稼働のため、紙詰まりや用紙切れが起きると、別フロアのオペレーターに自動でメールが送信されます。オペレーターはメールを受けてオンデマンド機のあるフロアに入り、エラーに対処します。



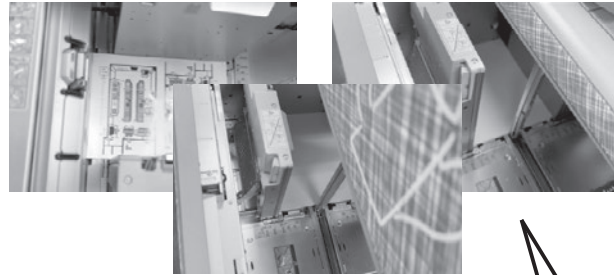
3

各ジョブは部数の区切りに間紙を挿入しながら出力されます。出力完了でバーコード入りのジョブチケット（指示書）が発行されます。



1

正文舎のDPFは別フロアにいるオペレーターが印刷指示を行うことで、自動でオンデマンド機が稼働します。カラーページの差し込みや、本文と異なる紙種の切り替えも用紙トレイにそれぞれの用紙をセットすることで、丁合された状態で印刷されます。機械的に丁合するのでミスがなく、折り作業もインラインのため製本ミスを軽減します。



5

後加工でも製本・断裁設定をメモリに保存できる無線綴機、断裁機の機能を活用し、社員証とジョブチケットのバーコードを読み込み、ジョブチケット記載のメモリ番号を選択するだけで、機械のセッティングが完了するので、スキルレスとミス低減を実現します。



6

バーコードによる確認で検品もデジタル化します。顧客のオーダーリストをもとに制作作業リスト、印刷指示リスト、出荷予定リストが一つのデータのもとに行われるので人的ミスやご配送を削減します。カメラでモニタリングすることで、ミスが起きた際の原因究明も迅速に行えます。



4

ジョブチケットのバーコードと社員証のバーコードを読み込むことで、いつ・誰が・どの案件を担当したか記録し、日報としてMISにフィードバックします。



TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
http://www.lithmatic.net

基本性能を
追求した
Pro の最高峰。

RICOH
imagine. change.

多様化するニーズに対応し、ハイクオリティな印刷を続けられるタフな生産機。

生産性を高める高速出力、滑らかな高画質、高精度なレジストレーション、
幅広い用紙対応力など磨き上げた基本性能に加え、新技術 IQCT* for High-End による印刷品質の自動安定化と
印刷前の調整作業の省力化により、デジタル印刷ビジネスを強力にサポートします。

リコーの新たなフラッグシップモデル RICOH Pro C9200 シリーズの登場です。



RICOH Pro C9210/C9200

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

*Inline Quality Control Technology ※写真はRICOH Pro C9210にオプションを装着したものです。

プロ、体感。	RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース	RICOH Proをはじめ、プロダクションプリンティングビジネスの新たなソリューションをご覧ください。またDTPセミナーも定期的に開催中。 お問い合わせ：050-3534-2121 ※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。
CP	この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスであるRICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。* iPhone/iPad/Android™ アプリケーション『RICOH CP Clicker』(無料)をダウンロードし、広告を撮影(クリック)すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧ください。	株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6 リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝3-8-2

※iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。※AndroidはGoogle Inc.の商標です。

Horizon

Change the focus

iCE Series 誕生

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。

ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。

さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

生産性と折り品質が向上

iCE FOLDER 紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフstopperの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



作業効率と製本品質が向上

iCE BINDER 無線綴じ機 BQ-500

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるパブリック製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い自身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



高生産性と自動化を追求

iCE TRIMMER 三方断裁機 HT-300

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361 (代) FAX.03-3863-5360

東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631 (代) FAX.03-3652-8083

京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060 (代) FAX.075-933-4025

福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111 (代) FAX.092-626-8112

FUJIFILM
Value from Innovation

完全無処理版で、自動化への第一歩を!

刷版工程の効率化・省力化にはさまざまなアプローチがありますが、

その要となるのは、無処理版へのシフト。

「完全無処理化」が、CTP自動化の起点となり、

スマートファクトリー構築への大きな一歩になります。

※QRコードより各製品の動画や製品情報がご覧いただけます。

パレットローディングシステム

- 最大積載枚数1,200枚
- 刷版の装填回数削減
- 装填作業の負荷低減



インクジェット印字装置

- インクジェットで版面にジョブ名を印字



自動ベンダー

- バンド（版曲げ）作業の負荷低減



完全無処理CTPプレート

- 高耐刷・UV対応の完全無処理CTPプレート
- アルカリ現像・ガム処理工程の削減
- 自動現像機メンテナンスの削減



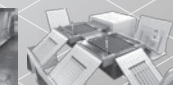
CTPセッター

- 最高70版/時の安定した高速出力



刷版自動振り分け装置

- 印刷機ごと・版サイズごとのストッカーへの仕分け



刷版工程自動化ソリューション

Prepress Factory Automation

完全無処理CTPプレート SUPERIA ZD-Ⅲ

ロングランからUV印刷まで、さまざまなお仕事で安心して使える、汎用性に優れた完全無処理プレートです。

無処理化の3大メリット

1 人材を有効に活かせる!

2 省スペース化が図れる!

3 環境負荷低減に貢献できる!

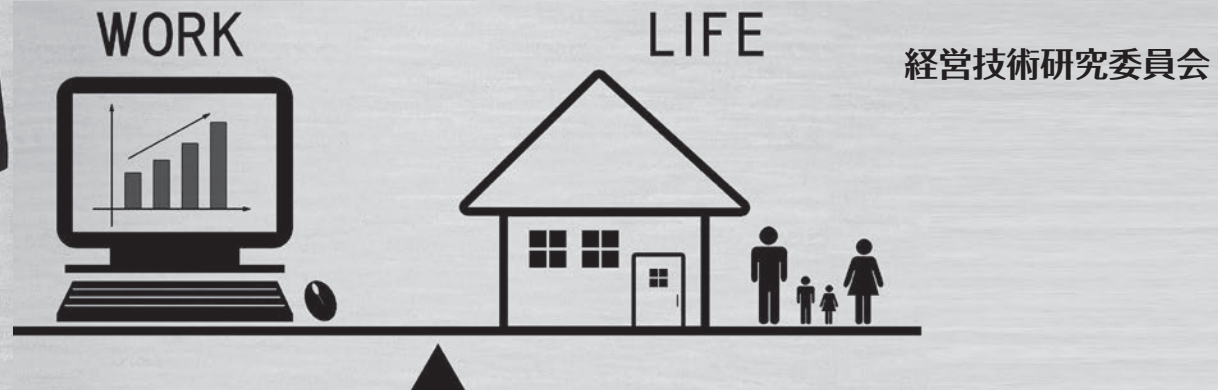
完全無処理プレートを導入されたお客様の声を
ご紹介しています。

FFGS 無処理



富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

中小印刷業の 働き方改革を考える⑤



東京・西谷印刷(株)さんの事例

経営技術研究委員会※（向井一澄委員長）では、2020年から2021年度の2年間を活動の単位とし、企業を取り巻く働き方改革、コンプライアンス、SDGs、コロナ対応等のさまざまな経営環境の変化をテーマに、議論を重ねているところです。

なかでも、対応が急務とされる「働き方改革」について、先進的な取り組みをしているジャグラ会員企業へ取材を行い、「中小企業にも効果のある働き方改革」の事例を紹介することを委員会活動の主軸としました。

取材は、アンケートシート記入による1次取材と、Zoomでのオンライン2次取材で実施することを基本とし、必要に応じて追加取材・現地取材を行います。取材結果は最終的に「報告書」として取りまとめ、会員の皆様に情報発信する予定です。

今回は東京文京支部の西谷印刷(株)さんの取り組みをご紹介します。

※経営技術研究委員会

担当理事	宮崎 真	(株)ニシキプリント（広島）/ 副会長
委員長	向井 一澄	大更印刷(株)（岩手）/ 理事
副委員長	樋貝 浩久	(有)東和プリント社（山梨）/ 理事
委員	渡辺 辰美	(株)あいわプリント（北海道）/ 理事
	熊谷 晴樹	創文印刷出版(株)（宮城）/ 理事
	伊東 邦彦	キング印刷(株)（福島）
	稲本 創	(株)いなもと印刷（茨城）
	竹内 正敏	(有)富士タイプ製本所（愛知）
	安達 睦男	(有)舞鶴孔版（大分）
事務局	阿部奈津子	

PROFILE

●取材企業のプロフィール

会社名	西谷印刷(株)
創業	1968年4月
代表者	西谷 毅
所在地	東京都江東区
従業員	9名



同社 HP <https://nishiyap.co.jp/>



STEP-1

アンケートシート記入による1次調査

Q1. 働き方改革に取り組む狙いは何ですか？

- ・少人数なので、社員の健康条件が心配だった。
- ・有給が使えないことへの不満が社員にあった。
- ・子育てしている従業員から有給を使いやすくしてほしいという要望があった。

Q2. 働き方改革に取り組み始めた時期は？

2018年ごろから、以前より懸案だった有給休暇の取得がしにくいという問題を解決するために取り組み始めた。

Q3. その当時の時代認識、自社の状況認識は？

有給休暇を使用することを会社としては特に良くも悪くも捉えておらず、使いたい人が使い、業務などで使いにくい人は殆ど使っていないという状況が長く続いていた。

2019年の有給休暇5日以上の使用が義務化となる前に、この状況を改善する必要があると考えた。

Q4. 改革働き方改革の着手を決断した際の心境は？

有給休暇を使用させるために稼働日を増やすなどのことは考えていなかったで、いかに業績に影響なく現状を改善できるかが不安だった。

Q5. 働き方にどのような手順で着手しましたか？

- ・有給休暇を1時間単位で取得できるようにした。
- ▶3～4ヶ月スパンで半日、2時間、と試していった。
- ▶細切れにすると計算が面倒くさくて最初は嫌だった。午前中就業時間は3時間あるので、2時間の休みは使いづらいという声があった。
- ▶最初は計算など面倒くさかったが、定着して走り出せば問題なくなった。
- ・リモートワークはコロナスタート。
- ・リモートをやりたい人のため、万が一会社を閉めなさいけなくなった時の保険のため。

Q6. 政府が推進する次の働き方改革のうち、御社の取り組み状況は？

- ①非正規雇用の待遇差改善→対応予定なし
- ②長時間労働の是正→取組中
- ③柔軟な働き方ができる環境づくり→取組中
- ④ダイバーシティの推進→部分的に対応
- ⑤賃金引き上げと労働生産性向上→その他（準備段階だが、評価制度が確定してから取り組む予定）
- ⑥再就職支援と人材育成→部分的に対応
- ⑦ハラスメント防止対策→部分的に対応

Q7. Q6で「対応」と回答した項目について、具体的な取り組み内容は？

- ②残業時間の平均値を大きく超える従業員には問題の把握から改善までを呼び掛けている
- ③業務内容にもよるが在宅が可能な状況などは整いつつある
- ④育児・介護休業及び育児・介護短時間勤務に関する規定の策定、在宅勤務規程の策定、それぞれの実施
- ⑥人材育成は新しい業務などを通じて行っている
- ⑦就業規則には表記してある

Q8. Q6で「対応予定なし」を選択した項目についてその理由は？

- ①非正規雇用の予定が無いため

Q9. 働き方改革を行って感じるメリットは？

- ・チャットでのやり取りはストレスがあるようで、コミュニケーションが良くない方向に進むことがあった。
- ・リモートワークは新しい企画などを作るためにすり合わせをするのには向いていないようだった。
- ・どうしても実際に作る作業者とデザインなどを担当するものが同じ場所にいる必要が複数回発生して、全てがリモートではやり切れなかった。

Q10. 働き方改革を行って感じるデメリットは？

- ・持続可能な働き方という点においては働き方改革とSDGsは親和性があり、SDGsを自社に取り入れる際に働き方改革的なことは必須になると思われます。しかしながら、当社ではSDGs

ながら制作を行っているのでしょうか？

●西谷　そうですね。会社のMacがちょうど買い替え時期になりまして、そのタイミングでMac Book Proを購入して、それを使ってもらっています。ノートだと画面が小さいので、モニターに接続するケーブルを用意して、リモートでは自宅のモニターにつないで作業してもらっています。

●稲本　その方とは普段のコミュニケーションはどうやってとられているんですか？

●西谷　Zoomが多いですね。

●稲本　Zoomはずっとつながっぱなしですか？

●西谷　つながっぱなしではないです。ちょっとしたことであれば携帯電話に電話しています。複数で話すときや、画面共有しながら話したほうが早いときはZoomを使いますね。

●稲本　なるほど。ありがとうございます。ほかの方から何かお聞きになりたいことはありますか？では、伊東さんお願いします。

●伊東　こんにちは。福島県のキング印刷という会社の伊東と申します。有給の時間単位の取得なんですけど、例えば同じ時刻にダブって有給の申請がされて、社内に誰もいなくなったとか、実際に運用して困ったことやトラブルが起きたことはありませんか？

●西谷　コロナのタイミングで、雇用調整助成金の絡みもあって出勤予定表を作成したのですが、休む場合は必ず前日までに出勤予定表に入力し、複数が同時に休むことは極力避けてほしいと伝えています。たまに、夕方お子さんのお迎えがあるので1時間早く抜けますといったこともありますが、それは仕方ないねということで処理していますが。極力前日までに、明日有給使います、と全員に告知すればOKとしています。

●向井　1時間休ということですが、時間帯的に始業や終業付近に使う方が多くなりますか？

●西谷　はい、確かにそうなることが多いのですが、病院の予約があるので2時から4時まで抜けますといった場合もあります。病院が近場にたくさんあるので、1時間で行って帰ってこられる場合もあるので、歯医者との予約がありますとか、そういうのはたまにありますね。

●向井　ありがとうございます。次に、改革や改善の進め方について伺いたいのですが、自分がいいと思っても社員のほうから苦情があってスムーズに行かない場合などは、どのように対応していますか？

●西谷　例えば有給休暇の変え方、リモートワークもそうですけど、本来どうあるべきかというのをまず一緒に共有します。有給だったら、1日単位で休んでくださいねと厚生労働省が言っているんですよね。でも、私たちが使いやすい休みの単位って何だろう？　とか、リモートワークについても、出社しなければならぬ瞬間は絶対あるよね、でも危機回避やいろいろな状

めてですが、会社で働く全員の健康状態が心配で。仕事が偏ったり、有給がこれだけあるのに使えないとか、そういう不満で人が定着しなかったら嫌だというすごく単純な話です。それから、子育てしている従業員から有給を使いやすくしてほしいという要望がありまして。ではいろいろ試して考えていこうか、ということで、考えているだけじゃ進まないからまずやってみよう、ということでスタートしました。

●稲本　なるほど。それで有給休暇を1時間単位で取得できるようにしたわけですね。最初は半日単位での有給休暇を試してみて、そのあと2時間にして…とアンケートで回答されてますが、1時間単位の有給が定着するまでどのぐらいにかかったんですか？

●西谷　ちょっと記憶が曖昧なんですけど、多分半年から10カ月ぐらいです。3、4カ月ぐらい半日休を試したのですが、いまいち使いづらいということで、じゃあ2時間に見よう。本音を言うと、細切れにすればするほど計算が複雑になっていくんで、嫌だったんですよね、最初は。時間単位で残りを計算していかなければならないので、半日ぐらいがざっくりしていて楽だなと思っていたのですが…それで、次に2時間休を試しました。

で、2時間休を試して3カ月ぐらいで、ちょっと使いづらいという話が出て。というのは、弊社は朝9時からの始業なんですけど、午前中3時間で2時間休みというのが微妙で使いづらいと。あと、朝役所に立ち寄って書類だけ取りに行きたいのに2時間も必要ないなどいろいろ意見があって。結局、じゃあ何がいいの？という話になって、1時間単位にしたという感じです。

●稲本　実際1時間単位で休みが取れるというのは、従業員さんにとっては使いやすいと思うんですけど、計算など面倒くさい部分はありますか？

●西谷　そうですね。最初はちょっと面倒くさく感じましたが、今はそうでもなくなりました。もう1年以上経っていますが、不満も出ていませんね。

●稲本　ありがとうございます。あとリモートワークについて伺いたいんですけど、これはコロナ禍になってから取り組み始めたのでしょうか？

●西谷　はい。もともとやりたいという話が出ていたのですが、具体的な話がまとまっていない状態でコロナになって、じゃあやろう、と。少なくとも、やりたいと言っている人はできるだけやらせてあげたいっていうのと、万が一本当に出社できなくなってしまった場合の保険としてスタートさせた感じですね。

●稲本　現在は社長含めて9名従業員の方がいらっしゃると思うんですけど、どのぐらいの方がリモートワークされているんですか？

●西谷　2名やっていたのですが、今は制作のスタッフ1名です。

●稲本　その方は自宅にパソコンを置いて、そこでやり取りし

はありませんが、従業員側から意見がいろいろあり今に至ります。様々な取り組みは経営者だけでは行えず、従業員と共にいろいろ試してみたり意見を交換することが重要だなと感じます。やらないよりやった方が良い未来が待っていると思って、まずはやってみるということが良いかと思います。

の啓蒙が進んでいないため、個々人の認識に任せてしまっている部分がある。今後はこれを改めていき従業員の認識をアップデートして会社の発展につなげていきたいと考えている。
・DXはまだまだ勉強中です。部分的には取り組んでおり、受注等の管理システムを自社で開発中。

Q11.これから働き方改革に取り組む企業に、メッセージをお願いします

弊社の動きが働き方改革と呼べるほどの取り組みなのか自信が

STEP-2

Zoom 利用によるオンライン 2 次調査 委員による追加質問にお答えいただきました

●向井　本日はお忙しいところありがとうございます。稲本さんを中心に進行していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

●稲本　ありがとうございます。それでは、早速取材を始めたいと思います。まず、西谷印刷さんは普段どういったお仕事をされているか伺いしてもよろしいでしょうか？

●西谷　皆様はじめまして。西谷印刷の西谷と申します。弊社は東京の江東区という、すごく下町にある印刷会社です。祖父の代に創業し、当時は活版から軽オフをやっていたのですが、その後いったん機械を手放して営業だけやっていた時代がありました。基本的に弊社は、印刷会社さんや同業の方からの注文はほとんどなかったの、直請けの商業印刷主体で、名刺や伝票から、カタログなどの制作まで、幅広く受けている状況でした。

そして、私が6年前に代表になりまして、そのちょっと前から社内内で製化できるものを増やし、現在はデザインから組版までを行うようなデータ制作と、オンデマンド印刷機2台の体制で内製できる仕事をやっているというかたちです。同時に、協力会社さんと一緒になってオフセット印刷も受注しておりまして、売上の8割ぐらいは直接のお客様から、というイメージです。

●稲本　ありがとうございます。普段印刷されているのはどういふものが多いんですか？

●西谷　本当にいろいろな仕事を受けているのでなんとも言えないのですが、多分今までで一番多いのは冊子ですね。報告書関連など、役所に準じる半官半民みたいな会社の報告書類の仕事が非常に多かったです。最近はカラーの冊子が増えてきてお

ります。あとは、端物ですね。伝票類もそうですが、名刺やショップカード、DMなどそういった細かいもの。それから最近だと、日本で開発された新しいLIMEX（ライメックス）TMという素材のカード印刷に力を入れておりまして、徐々に案件が増えている状況ですね。社内でリコーのオンデマンド機を入れているので、小ロットに関してはオンデマンドで対応して、大きなロットについては協力会社さんと一緒にやっているようなかたちです。

●稲本　オンデマンドはモノクロ機1台、カラー機1台ですか？

●西谷　以前はそうでしたが、今はカラー機2台になりました。

●稲本　ありがとうございます。今従業員数8名ということですが、その8名のうち営業何人など、体制を教えてくださいませんか？

●西谷　私を入れると従業員数は9名で、営業が私含め4人体制、制作専業が2名、オンデマンド専業が1名です。

●稲本　オンデマンドを専業でやっている方もいらっしゃるんですね。こちら稼働時間は多いですか？

●西谷　多分、オフセット機とオンデマンド機両方持っている会社と比較すると、稼働時間は長いと思いますね。大体ずっと回っている感じはします。

●稲本　ありがとうございます。では、本題の働き方改革についての質問に移っていきたいと思うのですが、1次アンケートの回答を見ますと、労働時間や有給休暇の消化についてたくさん書かれているんですけども、このへんが一番の課題だったということですか？

●西谷　そうですね。少人数でやっているんで、自分自身も含

況に応じて、なんとか会社を進めていかなきゃならないから、こういう方法をとっていかなければいけないよね、で、一番やりやすい方法なんだろうね？ という感じで、率直に話しています。

苦情についてですが、有給が使いつらいなどの意見はけっこう率直に言われますね。一生懸命考えたことでも、不満が出ることはあるので、一人で考えるのはやめて、じゃあどうしたいの？ とズバリ聞くようになりました。それで、じゃあ今回からこれで変えていこうと。ただ、要求を全部聞き入れるわけではなくて、従業員側から要求されてもできない場合は、ごめんなさい、こういう事情でできませんと、はっきり言っています。

●稲本 ありがとうございます。では、政府が推進している働き方改革の7項目のうち、5番の賃金引き上げと労働生産性向上のところに「準備段階だけど、評価制度が確立してから取り組む予定」と回答されていますけれど、これはいま、その評価制度を作成しているということなんでしょうか？

●西谷 その件については、ちょっと手が回らない状況です。実はこれがずっと課題で。課題がいくつかある中の、これが最後になっている感じですね。

●稲本 いろいろなお仕事されてらっしゃると思うので、この仕事は時間単価いくらとか、標準化するのってなかなか難しいと思うんですけど。

●西谷 ええ、生産性向上と関係していると思うのですが、機械を回すことに関しては比較の数値化しやすいと思うんですね。ただ、制作については非常に難しいですよ。校正2回で終わると思っていたけど3回、4回になっちゃった。それで制作の工数も上がりましたっていても、お客さんも予算があるので、予算通り請求を立てなければいけないとか。じゃあそれどこの責任で時間単価が下がってしまったのかというのは非常に難しい話で、そこを評価に入れていくというのはどこまで可能なかっていうのは、考え始めると危ない。

●稲本 ですよ。

●西谷 なので、なるべく簡単な評価制度にしたいと思っています。理想としては、その人が1時間にいくら稼がなければならぬということのを突き詰めていくのが一番明確で、ある意味平等ではあると思うんですけど、仕組み上、やりきれない部分はあるかなということなんです。

●稲本 ありがとうございます。もう1点、働き方改革のメリットについて、「従業員同士が業務を教え合って、複数の業務を行うことができる従業員が生まれた」と回答されていますが、これはいわゆる多能工化ということですか？

●西谷 そうですね。港支部のイナミツ印刷さんに見学へ行ったときも、多能工化について話をされていて、弊社でも取り入れたいと思いながらも着手できずにいましたが、ある意味コロナが大きなきっかけとなりました。オンデマンドが専業で1人と

いう状況なので、それをフォローするために制作が朝来て一緒にやって覚えるとか、そういう協力体制ができたので、その部分は非常によくなってきています。それから、制作だった従業員がオンデマンド、営業と経験し、同時にいくつかできるようになったという例も出てきました。

●稲本 営業の方でも制作とかオンデマンド機を使える状況になっているんですね。

●西谷 はい。以前は私も全部やってましたからね。

●伊東 かなり答えづらいことを聞いてしまいますが、従業員9名だと一人ひとりの力がすごく大事になってくると思うんですが、誰かお辞めになって困ったことはありますか？また、採用についてご苦労話があればお聞かせください。

●西谷 困ったことはいっぱいありますね。まず、私が11年前にこの西谷印刷に入ったときは、両親2人と従業員1名という状況だったんですね。そこから始めて、採用を続けて人を増やしてきたのですが、急遽辞めてしまったことは何度かありました。そうした場合、すぐ別の人を採用するのか、それとも我慢してしばらく様子を見てからいい時期に募集をかけるのか悩む、ということはずっとありました。最近では、半年ほど前にお辞めになった方がいるのですが、家庭の事情で辞めることになりそうだと事前に相談があったので、計画的に人を採用して、引き継ぎが済んでから辞めてもらったかたちでした。

大変だったのは、一昨年に営業が辞めたときでした。その方は印刷営業経験者だったので、私の得意先を渡していたんです。それが1年で辞めることになってしまったので、苦労しましたね。そのとき、制作からオンデマンドに異動した社員がお客さんとやり取りした経験もあったので、営業になってもらえない？ とお願いして、異動してもらったことがありました。

●伊東 ありがとうございます。最終的には働き方改革を通り越して、社員の定着と採用まで絡めて考えていかないと、本当の社員の形成ができないですよ。中小零細企業の一番の悩みかなと思って、質問させていただきました。

●西谷 私もその部分は本当に重要なところだと思います。1次アンケートに回答した時はまだ取得していなかったので触れなかったのですが、東京都に「健康優良企業認定」という制度があって、弊社は銀の認定を取得しました。それとだいたい同格のものに、経済産業省の「健康優良法人」という制度があります。いずれも認定基準をクリアするのはけっこう大変なのですが、認定されるとホームページなどでPRできるので、これから従業員の健康に取り組むにはおすすめだと思います。健康優良企業認定は、絶対従業員を巻き込まないとできないものなので、大変ですけど、もし興味がある方は取り組まれるといいかなと思ったので、補足させていただきました。

●稲本 ありがとうございます。社員さんの身体の健康ということですかね。

●西谷 メンタルヘルスも含めます。メンタルの相談も受けられる状態にしましょうね、といった項目がいろいろあるんです。

●稲本 そういった認定をとっておくと、採用のときにPRポイントになりますね。

●西谷 そうですね。真剣に取り組まないとできないものなので、真面目な会社だという印象は持ってもらえると思います。

●向井 伊東さんからもお話が合った通り、人手不足の中で、



西谷印刷外観



社内の様子

いかに従業員を確保するかということがすごく大事で、そのためには自社をより価値の高い会社に変えていかなきゃいけないという流れもあると思います。その中で、西谷さんは、社員の方と距離が密接で意思が伝わりやすい、軌道修正しやすい、という少人数ならではのメリットを活かして、取り組めることを実践されていると感じました。本日はありがとうございました。



Zoom 朝礼の様子



最近の試作を含む製作物

業 界 の 動 き

ジャグラ

菅野前ジャグラ副会長(東グラ前会長／東京・城東) 都知事賞受賞を祝す

昨年 10 月に東京都知事表彰を受けた菅野潔前ジャグラ副会長をお祝いする会が、12 月 2 日に東京城東支部忘年会と兼ねて小伝馬町の東京アフロディテにて開催されました。

×

当日は小池百合子都知事を代理して、谷口理恵城東支部長が表彰状と記念品を贈呈し、祝宴が始まり、クイズに正解すると好きな番号を開けられるビンゴ大会で盛り上がりしました。コロナ禍もあり、久しぶりに顔をあわせる方々も多く、和気あいあいに行われた楽しい祝宴でした。



菅野前副会長(左)と谷口城東支部長

ジャグラ

東京・文京支部 60 周年式典ひらく 東京グラフィックス

東京グラフィックサービス工業会文京支部が12月10日、創立 60 周年の記念式典・忘年会を開催しました。

×

本年度で創立 60 周年を迎える文京支部では、去る 12 月 10 日(金)、上野東天紅&オンラインのハイブリッドで文京支部 60 周年記念式典・忘年会を開催いたしました。

コロナ禍にもかかわらず感染者数が落ち着き、2 年ぶりに顔を合わせての宴席には、来賓の成澤文京区長やジャグラ中村会長、東京グラフィックス清水会長を筆頭に総勢 53 名(オンライン 2 名含む)のご出席を賜りました。

西谷副支部長の司会のもと、始めに浅野支部長より、「みんながいる、からがンばれる」のスローガンと共に、文京支部の先輩方をはじめ、支部にかかわられている皆様のおかげで 60 周年を迎えられたことへの感謝の言葉が挨拶として述べられて式典が始まりました。

続いて、ジャグラ中村会長、東京グラフィックス清水会長よりご祝辞を賜り、東京グラフィックス中村盟副会長より乾杯の発声をいただいて宴が始まりました。

今回は、Zoom カメラを数台用意したハイブリッド形式で会場とオンラインを中継し、オンライン参加の方にも会場の雰囲気伝わる工夫をこらしました。

鋭意制作中の 60 周年記念誌について、谷口編集委員長よりご紹介いただき、続いて、成澤文京区長よりご祝辞を賜りました。

そして、この 2 年間で新しく仲間となった新入会員 5 社のうちの 3 社にご登壇いただき、ご挨拶をいただきました。お楽しみのアトラクションは、大根田副支部長の進行で、豪華商品をご用意した『数字当てゲーム』で盛り上がりしました。

笹井副支部長による賛助会員の皆様のご紹介ののち、錚々たる歴代の支部長よりお言葉をいただきました。最後は副支部長全員から一言、松谷副支部長の中締めでお開きとなりました。

昨年からのコロナ禍で我慢の連続ですが、60 周年を皆様とともに盛大にお祝いできましたことを感謝申し上げます。文京支部は 60 年という大きな節目を迎え、これからの 10 年・20 年先もさらに進化していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(浅野健一東京・文京支部長寄稿)



上段左から挨拶する浅野支部長、祝辞を述べるジャグラ中村会長、歴代支部長を代表して挨拶するジャグラ沖専務、下段・記念式典・忘年会参加者

業 界 の 動 き

ジャグラ

東北地協で第 2 回幹事会開く 東北地協

東北地協より令和 3 年度第 2 回幹事会の報告がありましたので紹介します。

×

日時＝令和 3 年 12 月 14 日(火) 14:00～16:00

場所＝仙台大気堂 4 階会議室及び Zoom のハイブリッド開催

◆式次第

司会＝事務局(大橋)

○挨拶＝東北地協会長 熊谷晴樹

○議題(進行：熊谷晴樹地協会長)

(1) 全国協議会報告

(2) 各県支部の動き

◇今期活動状況(行事開催、会員社フォロー、会員増強)

(3) 次期地協福島大会準備状況報告

福島県で開催することが全会一致で決定された。

(4) 次期東北地協人事

全国理事(副会長予定者)＝熊谷 晴樹(宮城県)

全国理事＝伊東 邦彦(福島県)

全国監事＝菅原 正行(岩手県)

(5) その他

①生産性向上委員会からのセミナー開催依頼の件
開催する方向で準備を進める

②東北地協・宮城県支部セミナー 開催報告

12 月 3 日(金) 15:00～16:00 15 名の参加

日印産連

新年交歓会に 250 名超 SDGs に則した事業推進へ

(一社)日本印刷産業連合会は 1 月 6 日、東京都港区の The Okura Tokyo で 2022 年新年交歓会を開催しました。ジャグラからは 16 名が出席しました。

×

コロナ感染対策として今年の新年交歓会は、2 部制で行われました。前半は日印産連の藤森会長による挨拶、経済産業省商務情報政策局の藤田審議官、衆議院議員の山田美樹氏、海江田万里氏が祝辞を述べ、賀詞交換の時間が設け

※訂正とお詫び 月刊グラフィックサービス 1 月号 新春座談会の記事中、出席者発言の文章の一部が DTP データから印刷用 PDF に変換される際、太ゴシックに変換される事態が発生しました。訂正し、お詫び申し上げます。

Zoom セミナー『情報発信のデジタル化を電子配信ツール「MCatalog +」と UD フォントでサポート』が開催されました。

③コロナ禍での支部活動の事例

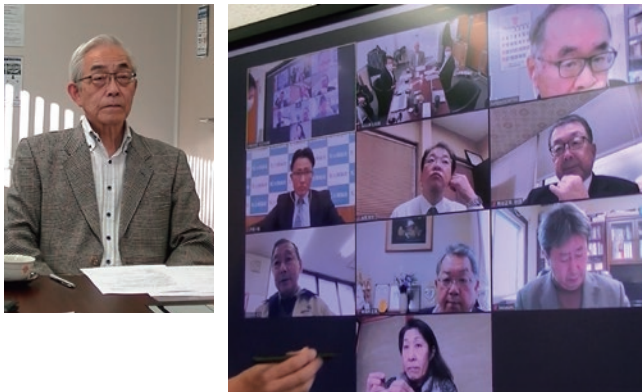
本部事務局より支部活動事例の資料を提供頂きました。

④事業継承(社長交代)報告

◇令和 3 年 10 月 岩手県支部 トーバン印刷株式会社
代表取締役社長 菅原正行氏⇒佐藤徳幸氏(菅原正行氏は代表取締役会長へ)

◇令和 3 年 12 月 秋田県支部 株式会社 東海林印刷
代表取締役社長 東海林正博氏⇒東海林正豊氏(東海林正博氏は代表取締役会長へ)

◆出席者「青森」渡邊支部長「岩手」菅原支部長、戸来副支部長、向井事務局長・本部理事「秋田」松原支部長、熊谷本部副会長、東海林本部監事「山形」後藤支部長「福島」伊東支部長、有賀副支部長「宮城」熊谷地協会長(支部長)、高橋副支部長、大橋理事



熊谷晴樹東北地協会長(左)、Zoom 参加の幹事の方々

られました。後半は指定のテーブルで会食が行われ、中村会長をはじめ会員 10 団体代表が登壇し、日印産連の浅野副会長の発声で中締めしました。



10 団体会長による中締め

日印産連の
藤森会長

ジャグラBB

JaGra Broadband Contents Service

HOTNEWS

2022年2月号

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

JaGraBBでつながろう！

JaGraBB委員会が選ぶ

おすすめ番組ラインナップ!!



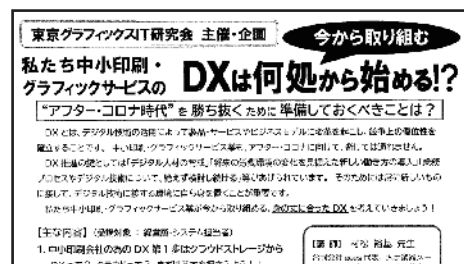
【BTube】
お城EXPO行ってきた
(東京都:株式会社ケイスイ
小林様 投稿作品)

カテゴリー > BBネットワーク > B Tube



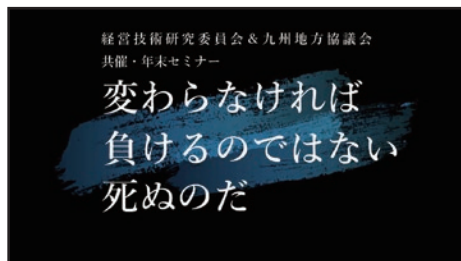
【BTube】
Mitsuwa x Drone
(千葉県:みつわ様 投稿作品)

カテゴリー > BBネットワーク > B Tube



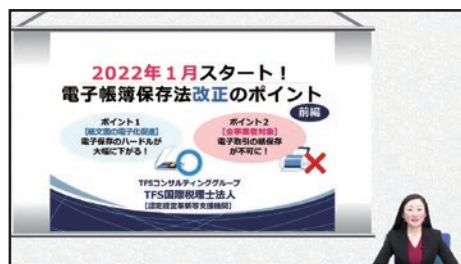
私たち中小企業・グラフィックサービスのDXは何処から始める!?
(主催:東京グラフィックスIT研究会)

カテゴリー > セミナー > 経営者向け



変わらなければ負けるのではない、死ぬのだ
～幾度となく倒産の危機に瀕した印刷会社の歴史～

カテゴリー > セミナー > 経営者向け



2022年1月スタート!
電子帳簿保存法改正のポイント【前編】

カテゴリー > 経営 > 企業経営



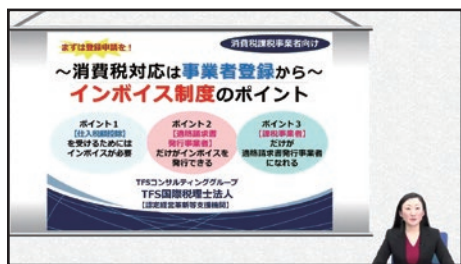
入稿データのチェックポイント
～Adobe InDesign編～

カテゴリー > 教育と技術 > DTP



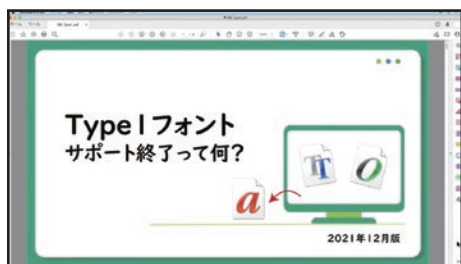
ジャグラニュース vol.441
(2022年1月)

カテゴリー > ニュース > ニュース・業界情報



インボイス制度のポイント
～消費税対応は事業者登録から～

カテゴリー > 経営 > 企業経営



重要! Type1フォントの
サポート終了って何?
～(2021年12月版)

カテゴリー > 教育と技術 > DTP

事務局日誌と 今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

2022年1月の事務局日誌

- 5日 仕事始め
- 6日 新年挨拶(会館) →中村会長・清水副会長、日印産連新年交歓会(ホテルオークラ) →中村会長、他多数
- 11日 東印工組新年会(パレスホテル東京)
- 12日 広報委員会(Web会議)、SPACE-21 幹事会(Web会議)
- 13日 大阪府支部新年会(ウェスティンホテル大阪) →田中常務
- 14日 DXワーキンググループ(Web会議)、千葉県支部新年会(ホテルミラマーレ)、東グラ理事会(会館) →沖専務
- 15日 長野県支部新年会・講演会(ホテルメトロポリタン長野) →笹岡理事
- 17日 経営技術研究委員会、東グラ新春賀詞交歓会(東天紅 上野本店) →中止
- 18日 プライバシーマーク現地審査(神奈川)、印刷物創注委員会(Web会議)
- 19日 ジャグラBB委員会(Web会議)、日印機工年始会(東京プリンスホテル) →中止
- 20日 大分県支部「講演会」「新年互礼会」(大分センチュリーホテル) →中止
- 21日 岩手県支部・印刷工業会 新春講演会・合同新年会(アートホテル盛岡)
- 24日 マーケティング委員会(Web会議)、月次会計(会館)
- 25日 生産性向上委員会(Web会議)
- 26日 プライバシーマーク審査会(会館)
- 27日 愛知県支部新年会(愛知観光ホテル) →中止、宮城県支部新年会(江陽ブランドホテル) →中止
- 28日 総務委員会(Web会議)、神奈川県支部新年会(菜香新館(上海路)) →中止、広島県支部新年会(料亭 久里川) →中止、日本印刷機材協議会新年互礼会(如水会館) →中止

2月のスケジュール

- 2日 「PAGE2022」開会式(池袋サンシャインシティ) →中村会長・田中常務、プライバシーマーク現地審査(都内)
- 3日 拡大理事会(会館及びWeb会議)
- 8日 ジャグラコンテスト専門委員会会議(Web会議)、ジャグラBB取材(山梨・株オズプリンティング)、年賀状デザインコンテスト委員会(Web会議)
- 10日 広報委員会(Web会議)
- 11日 ココカラ市場 by プリントネクスト2022(3331ArtsChiyoda) →延期
- 12日 プリントネクスト2022(イイノホール&カンファレンスセンター)
- 13日 SPACE-21 幹事会(会館及びWeb会議)
- 16日 DXWG(Web会議)、ジャグラBB委員会(Web会議)
- 18日 経営技術研究委員会見学会(キング印刷(福島))
- 25日 生産性向上委員会見学会(株トライス(兵庫))

3月のスケジュール

- 4日 マーケティング委員会
- 8日 DXWG(会館及びWeb会議)
- 9日 日印産連ステアリングコミッティ(日本印刷会館) →中村会長
- 16日 日印産連理事会(日本印刷会館) →中村会長・清水副会長、印刷図書館理事会(日本印刷会館) →中村会長、プライバシーマーク審査会(会館)
- 18日 拡大理事会(Web会議)
- 23日 東グラ理事会(会館) →沖専務
- 28日 経営技術研究委員会(Web会議)

事・務・局・便・り

6月に愛知大会が開催されます。「ジャグラの新章はここから始まる！」をテーマにジャグラの皆様のお越しを実行委員会総出でお待ちしております。3年ぶりの開催で皆様にお会いするのが楽しみです。愛知のお土産ベスト3をご存知ですか? 1位:味噌煮込みうどん 2位:しるこサンド 3位:八丁味噌(地元民がすすめるお土産じゃらん調べ)です。この機会にぜひ愛知にお越しください。(K.N)

※「事務局便り」は本部事務局職員が交替で執筆しています

GS

No.843
2022
02

月刊『グラフィックサービス』843号

■発行日 令和4年2月10日(毎月1回)
■発行人 中村 耀
■編集人 清水 隆司
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎企画: ジャグラ広報委員会

委員長 清水 隆司 / 副会長
委員 中村 耀 / 会長
田中 秀樹 / 東京・城東
斎藤 成 / 東グラ専務理事
沖 敬三 / 専務理事
田中 良平 / 常務理事
外部委員 藤尾 泰一 / (株)インフォ・ディー
事務局 阿部奈津子
守田 輝夫

◎原稿・編集・校正: ジャグラ事務局ほか
沖 敬三 田中 良平 並木 清乃
阿部奈津子 今田 豪 守田 輝夫
酒井 玲子 長島 安雄 (以上、ジャグラ事務局)
斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)
藤尾 泰一 (株)インフォ・ディー / 広報委員)
日経印刷(株) (校正のみ)

◎渉外 並木 清乃 守田 輝夫

◎広告 酒井 玲子

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版 / デザイン 日経印刷(株)

DTP = Adobe CS6/CC ほか
フォント = モリサワ 0TF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
CTP = 富士フィルム XP-1310R

刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P

インキ = DIC

用紙 = 三美ニューVマット FSC-MX 菊井 62.5kg

※本誌はFSC森林認証紙(管理された供給源からの原材料で作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2022 JaGra

禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です

原則、TMや®マークは省略しています

※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

RMGT 970 が あなたの SDGs を アシスト Assist

“誰一人取り残さない”社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もそのニーズに応えることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。



人に優しい

ワンボタン操作で楽々印刷の
スマートアシストプリンティングで人に優しい



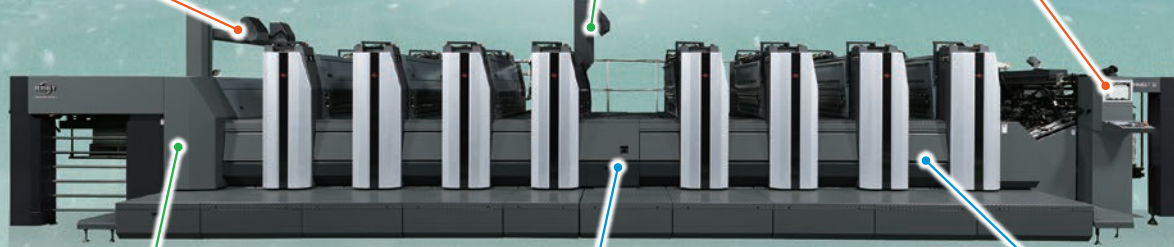
地球に優しい

品検・濃度・見当調整をインラインで行い
損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい



経営に優しい

アイコンやグラフを使った誰にでも解りやすい
グラフィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な
LED-UV で地球に優しい

短納期に対応できる
ワンパス両面印刷で経営に優しい

刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる
菊全判ジャストサイズだから経営に優しい



リョービ MHI
グラフィックテクノロジー株式会社